

平成22年（2010年）綱領

**新しい綱領、  
新たな出発。**

私たちは新しい綱領のもと、新たな出発をします。

今だけではなく未来のために、

日本だけでなく世界のために。

夢と希望と誇りを持てる国づくりをめざし、

邁進していく決意です。

いっしょにつくりましょう、新しい日本。

- 夢と希望と誇りを持てる国づくりをめざして -

**自民党**

平成22年1月24日

自由民主党

## 現 状 認 識

我が党は、「反共産・社会主義、反独裁・統制的統治」と「日本らしい日本の確立」の二つを目的とし、「政治は国民のもの」との原点に立ち立党された。平成元年のベルリンの壁の崩壊、平成三年のソ連邦の解体は、この目的の一つが達成されたという意味で、我が党の勝利でもあった。そこに至るまでの間、共産主義・社会主義政党の批判のための批判に耐え、我が党は現実を直視し、日米安全保障条約を基本とする外交政策により永く平和を護り、世界第二の経済大国へと日本を国民とともに発展させた。

日本の存在感が増すにつれ、国際化のなかで我々は多くのものを得た反面、独自の伝統・文化を失いつつある。長寿国という誇るべき成果の反面、経済成長の鈍化と財政悪化からくる財政諸機能の不全に現在も我々は苦しんでいる。少子化による人口減少は国の生産力を低下させると言われる。我が国は、これ等の現実を明るく希望ある未来に変えるため、少子化対策とともに、教育の充実と科学技術開発に国民資源を注力することにより生産性を向上させ、長寿人口の活用と国民資質の向上、国際化への良き対応により、経済成長が達成でき、国民生活の充実が可能なことを世界に示さねばならない。

我々は、日本国及び国民統合の象徴である天皇陛下のもと、今日の平和な日本を築きあげてきた。我々は元来、勤勉を美德とし、他人に頼らず自立を誇りとする国民である。努力する機会や能力に恵まれぬ人々を温かく包み込む家族や地域社会の絆を持った国民である。家族、地域社会、国への帰属意識を持ち、公への貢献と義務を誇りを持って果たす国民でもある。これ等の伝統的な国民性、生きざま即ち日本の文化を築きあげた風土、人々の営み、現在・未来を含む三世代の基をなす祖先への尊敬の念を持つ生き方の再評価こそが、もう一つの立党目的、即ち「日本らしい日本の確立」である。

我が党は平成二十一年総選挙の敗北の反省のうえに、立党以来護り続けてきた自由と民主の旗の下に、時代に適さぬもののみを改め、維持すべきものを護り、秩序のなかに進歩を求め、国際的責務を果たす日本らしい日本の保守主義を政治理念として再出発したいと思う。我々が護り続けてきた自由（リベラリズム）とは、市場原理主義でもなく、無原則な政府介入是認主義でもない。ましてや利己主義を放任する文化でもない。自立した個人の義務と創意工夫、自由な選択、他への尊重と寛容、共助の精神からなる自由であることを再確認したい。従って、我々は、全国民の努力により生み出された国民総生産を、与党のみの独善的判断で国民生活に再配分し、結果として国民の自立心を損なう社会主義的政策は採らない。これと併せて、政治主導という言葉で意に反する意見を無視し、与党のみの判断を他に独裁的に押し付ける国家社会主義的統治とも断固対峙しなければならない。また、日本の主権を危うくし、「日本らしい日本」を損なう政策に対し闘わねばならない。我が党は過去、現在、未来の真面目に努力した、また努力する自立した納税者の立場に立ち「新しい日本」を目指して、新しい自民党として、国民とともに安心感のある政治を通じ、現在と未来を安心できるものとしたい。

## 一、我が党は常に進歩を目指す保守政党である

- ①正しい自由主義と民主制の下に、時代に適さぬものを改め、維持すべきものを護り、秩序のなかに進歩を求める
- ②勇気を持って自由闊達に<sup>かつたつ</sup>真実を語り、協議し、決断する
- ③多様な組織と対話・調整し、国会を公正に運営し、政府を謙虚に機能させる

## 二、我が党の政策の基本的考えは次による

- ①日本らしい日本の姿を示し、世界に貢献できる新憲法の制定を目指す
- ②日本の主権は自らの努力により護る。国際社会の現実<sup>に</sup>に即した責務を果たすと同時に、一国平和主義的観念論を排す
- ③自助自立する個人を尊重し、その条件を整えるとともに、共助・公助する仕組を充実する
- ④自律と秩序ある市場経済を確立する
- ⑤地域社会と家族の絆・温かさを再生する
- ⑥政府は全ての人に公正な政策や条件づくりに努める
  - (イ) 法的秩序の維持
  - (ロ) 外交・安全保障
  - (ハ) 成長戦略と雇用対策
  - (ニ) 教育と科学技術・研究開発
  - (ホ) 環境保全
  - (ヘ) 社会保障等のセーフティネット
- ⑦将来の納税者の汗の結晶の使用選択権を奪わぬよう、財政の効率化と税制改正により財政を再建する

## 三、我が党は誇りと活力ある日本像を目指す

- ①家族、地域社会、国への帰属意識を持ち、自立し、共助する国民
- ②美しい自然、温かい人間関係、「和と絆」の暮らし
- ③合意形成を怠らぬ民主制で意思決定される国と自治体
- ④努力するものが報われ、努力する機会と能力に恵まれぬものを皆で支える社会。その条件整備に力を注ぐ政府
- ⑤全ての人に公正な政策を実行する政府。次世代の意思決定を損なわぬよう、国債残高の減額に努める
- ⑥世界平和への義務を果たし、人類共通の価値に貢献する有徳の日本